



函館っ子の夏の思い出の定番はハロウィン??

ハロウィンといえば、10月31日にカボチャちょうちんを片手に仮装してトリック・オア・トリート(ご馳走をくれないと悪戯するよ)と唱えてお菓子をもらい歩く西洋の行事ですが、私の故郷の函館市には、七夕の時に、このハロウィンそっくりの行事を行う風習があります。

夜、子供達は、グループを作り、浴衣姿で、穴を明けた大きな缶等にろうそくを入れた手作りの提灯を持って、近所の家々を回り、「竹に短冊七夕祭り おーいやいやよ(多いに祝おう) ローソク一本頂戴なー けなきゃ(くれないと) かつちやくぞー(引っ掻くぞ)」と大声で歌い、家の人が出てくるのを待ちます。家の人は、用意していたローソクやお菓子を子供達に配ります。子供達は、何時間もかけて家を周り、たくさんのローソクやお菓子を手に入るのです。

たくさんのグループが競い合うようにあちこちの家の前で歌う様子は、本当に微笑ましく、北海道を出てから20数年たった今でも街にハロウィンの飾りを見かけると、この函館版ハロウィンを連想してわくわくしてきます。

この函館版ハロウィンはWikiによると安政2年(1855年)の『函館風俗書』に既に記述があるそうです。

近所付き合いがますます希薄になる現代ではありますが、ずーと残して欲しい子供が主役の楽しい行事です。



勉強会のお知らせ

11月25日(日) 13時~15時30分

講師: 竹内靖夫氏

文化放送アナウンサー

テーマ: 「やさしさあふれる日本語の世界
~ラジオから学ぶコミュニケーション力」

会場: あざみ野 山内地区センター

参加費: 会員無料

専門職ビジター(医師・歯科医師) 5千円

他の専門職ビジター(衛生士等) 3千円

*初めの方は会員登録(サポート会員年会費
3千円)が必要です

編集後記

「こもれび」秋号をお届けします。皆さまは、一面の「地球に生きる」をどのようにお読みになられていますでしょうか。スケールの大きな話です。でもシリーズを重ね、やがて私達の体や健康の話に辿りつきますので、どうぞお楽しみに。それまでは、猛暑で疲れた体をおいしい秋の味覚で癒しましょうか。食欲の秋。
(大野・齋藤)

サークルiは、口の中の細菌が及ぼす全身への影響や、食事で噛むこと以外の口の知られていない機能を勉強し、それを市民の方々と共に考えていただく会です。ホームページ上でも情報を開示しています。



<NPO法人口腔健康推進協会サークルi>

227-0033横浜市青葉区鴨志田町815-35

電話: 045-962-1184 FAX: 045-962-1962

メール: info@circle-i.org URL: <http://www.circle-i.org>

